



Presto! ImageFolio

Windows 版

クイックリファレンス



S/N: 205420-02-01-W-J-091012-09

著作権について

©2000-2012, NewSoft Technology Corp., all rights reserved.

本書の内容の全部または一部を、Newsoft社の許諾なく、無断で転載あるいは複製することは、法令に特別の定めのあるほかは、固く禁じられています。

本製品を使用したことによるお客様の損害、逸失利益、または第三者のいかなる請求につきましても、Newsoft社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本書の内容は、改良のため、将来予告なく変更することがあります。本ソフトウェアCD-ROMにサンプルとして収録されているイメージ、電子ファイル、類は個人的立場での使用、展示、デモができますが、商業的立場での複製、再製、配布などは、法律により禁止されています。

商標について

ImageFolioおよびPresto! Image Explorerは、Newsoft社の登録商標です。MS Windows 98SE/Me/2000, Windows XP, Windows 7, またはWindows 8 は Microsoft Corporation の登録商標、Pentium および MMX は Intel Corporationの登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名については、各社の商標および登録商標です。

www.newsoftinc.com

www.newsoft.com.tw

www.newsoft.co.jp

www.newsoft.eu.com

www.newsoft.com.cn

目次

第1章	1
はじめに	1
Presto! ImageFolio の特長	1
必要なシステム環境	3
MMX 技術の採用	4
第2章	5
画面構成について	5
第3章	6
ツールについて	6
第4章	9
メニューコマンド	9
[ファイル] メニュー	9
[編集] メニュー	10
[選択] メニュー	11
[表示] メニュー	11
[処理] メニュー	12
[変更] メニュー	14
[ウインドウ]メニュー	15
第5章	16
パレットコントロール	16
第6章	18
レイヤーマネージャ	18

ショートカットキー一覧	20
メニューコマンド用のキーボード操作	20
ツール用のマウスおよびキーボード操作.....	22

第1章

始めに

Presto! ImageFolio は、高性能マルチメディアイメージプロセッシングソフトです。このソフトを用いることによって、カラー写真、カラー図形、ドローイングなど、また、VCR、レーザーディスク、デジタルカメラ、ビデオキャプチャーボックスなどの入力機器から取り込んだ画像を、画面上で、細部にいたるまで自在に処理することができます。

Presto! ImageFolio の特長

イメージ入力機能

- フラットベッドスキャナ、ハンディスキャナ、イメージキャプチャーボックス、デジタルカメラ、などからのカラー画像取り込み
- さまざまなイメージ機器との通信を可能にした世界標準 WIA/TWAIN インターフェースのサポート、及びスキャニングの自動調整機能
- 拡大されたイメージ画像入力の際の、自動/半自動イメージの継ぎ合わせ機能
- TIF、PCX、BMP、TGA、JPG、PCD、WMF、PNG など、さまざまなファイルフォーマット対応
- Flash Pix ファイルフォーマット対応
- 白黒、白黒 16 階調、白黒 256 階調、カラー16 色、カラー 256 色、カラー1677 万色のサポート

イメージ出力機能

- ファイル容量を大幅に軽減できるプログレッシブ JPEG ファイルフォーマットによる圧縮／解凍機能のサポート
- イメージ出力効果を增强するためのプリンタガンマ調整機能
- 実際にプリントする前にプリント効果を点検するためのさまざまなプリントカラー調整機能
- イメージ表示の品質調整が可能なモニターガンマ機能のサポート
- スタンド・アローン編集モード用の OLE2.0 によるサポート
- ホームページ作成及び HTML アプリケーション用のアートワークデザインが簡単に作成できる機能

イメージ編集／イメージ処理機能

- 各フォルダのイメージをプレビューしたり、処理するためのユーティリティを提供することもできるイメージデータベースとしての Presto! Image Explorer
- ドラッグアンドドロップ機能を搭載した Windows のユーザーインターフェース
- カラーから白黒 256 階調へ、カラー 256 色からカラー 1677 万色へなどの変換を可能とするイメージタイプ変換機能のサポート
- 複数のイメージファイルを同時に処理できる機能のサポート
- 複雑な構成のデータも簡単に編集できるマルチレイヤーシングルドキュメントの採用
- ドラッグアンドドロップ機能により、指定イメージをファイル間で自在に移動可能(指定領域の新規キャンバスまたは他のキャンバスへの移動が可能)
- カラーチャンネルの設定もしくはパレットからの選択による的確な色の決定
- 直線、ペイントブラシ、エアブラシ、グラデーション、消しゴム、ズーム、テキスト、スポイト、回転、色相／色彩ブラシ、明／暗ブラシ、ぼかし／シャープブラシなど豊富なツールで構成される高編集機能のサポート
- キャンバス上に複数のイメージを簡単に挿入できるイメージホースツールの採用

- ドローイング機能を強化するため、すべてのグラフィックツールにアンチエイリアス機能を付与
- どんなイメージにも、簡単にマスクをかけられる多種多様なツール
- ワンタッチで特定のオブジェクトに対してある光源を設けてマジック 3D 効果を作り出すことが可能
- ワンタッチで光の方向を選択してオブジェクトに影を付けることが可能
- エレガントテンプレートを採用し、日常の写真整理用のアプリケーションをサポート
- 明るさ、コントラスト、色相、色彩、色補正などのイメージ調整機能のサポート
- スムース、シャープ、縁どり、エンボス、モザイクなど、多彩な特殊効果のサポート
- すべての調整機能及びフィルタによって処理されたイメージを、実際のサイズでプレビューすることが可能なフィルターギャラリー
- Adobe™ 社の 16 ビット / 32 ビットプラグインフィルタインターフェースをサポート
- 回転、ミラー、反転、サイズの変更など、イメージ編集機能とフォトレタッチ機能のサポート
- 細かいイメージも修正可能なユーザーフレンドリーな拡大編集機能

必要なシステム環境

次に、Presto! ImageFolio を効率的にお使いになるためのハードウェア環境とソフトウェア環境を紹介します。

- ◆ CPU およびメモリ: ご使用の OS の最低動作条件を参照。詳細は、Microsoft Web サイトの関連項目をご参照ください。
- ◆ CD-ROM ドライブ
- ◆ プログラムをインストールし、効率的に作業を行うために、最低 60MB 以上の空き容量があるハードディスクドライブ
- ◆ Microsoft Windows 98 SE, Windows Me, Windows 2000, Windows XP (32-bit, 64-bit), Vista (32-bit and 64-bit), Windows 7 (32-bit, 64-bit), または Windows 8 (32-bit, 64-bit).

Presto! ImageFolio を最適に動作させたい方には、更に以下のような環境をお薦めします。

- ◆ WIA または TWAIN 対応もしくは記録媒体対応のデジタルスチルカメラやスキャナなどの画像入力機器
- ◆ MSWindows 対応のカラープリンタ

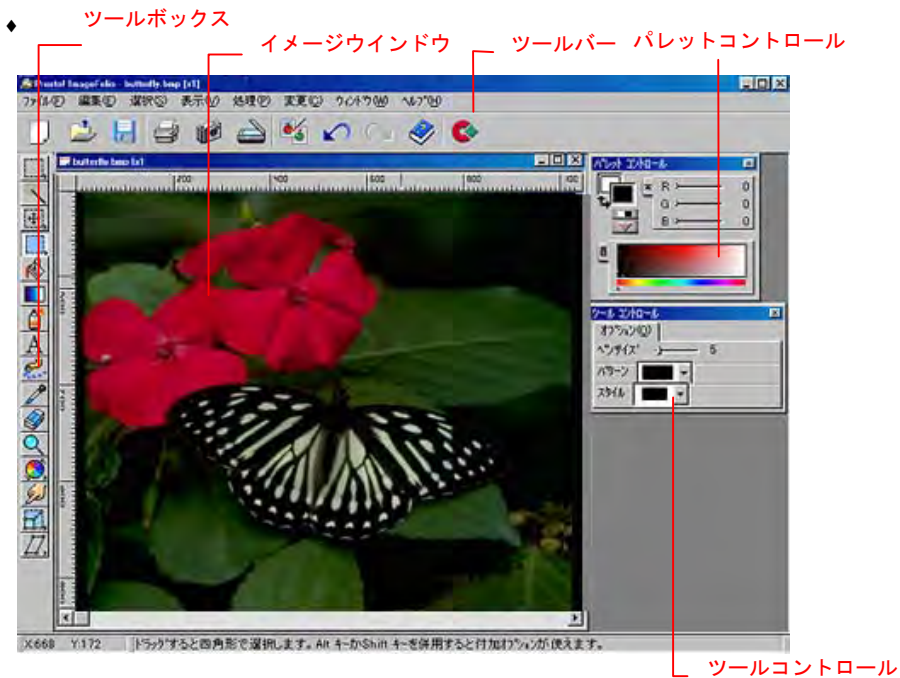
MMX 技術の採用

インテル社の最新の処理能力強化用技術である MMX™ テクノロジーは、マルチメディア及び通信の世界を大きく変容させることとなるでしょう。とともに MMX 技術対応の PC とソフトウェアを併用することによって、マルチメディア処理の性能を効果的に向上させることが可能となります。

Presto! ImageFolio は、この MMX 技術への対応が可能ないように作成されています。MMX™ 対応のペンティアムプロセッサ (Pentium® processor) 搭載の PC で、MMX™ を用いて作業を行うと、Presto! ImageFolio の性能を 20% 以上向上させることができます。Presto! ImageFolio は MMX™ 対応のペンティアムプロセッサ搭載の PC でご使用になることを強くお薦めします。

第2章













画面構成について



デフォルトスクリーンレイアウト

第3章

ツールについて

-  四角形セクタはイメージ上の編集したい部分を、四角形の範囲で指定することができます。
-  円形セクタはイメージ上の編集したい部分を円形の範囲で指定することができます。
-  フリーハンドセクタはイメージ上の不規則なラインに囲まれた領域を選択することができます。
-  セクタブラシはフリーハンドセクタのように複雑な形の領域をきめ細かく選択することができます。とくに、通常のセクタやマジックワンドと併用すると効果的な使い方ができます。
-  マジックワンドは〈魔法の杖〉という意味で、指定された地点から連続した、同色の領域を範囲として選択します。どの程度の色の誤差までを同色とするのかは、ツールコントロールで設定します。
-  [移動] ツールにより、イメージの中だけでなく、イメージキャンパスの間で選択範囲を移動することができます。また、マルチレイヤーからなるイメージにおいては、ある対象物（オブジェクト）をクリックすることで、そのオブジェクトを含んでいるレイヤーをすぐアクティブにすることも可能です。
-  スクロールツールはイメージキャンパス内のイメージを動かすことができるツールです。
-  ペイントブラシツールは実際の絵筆のようにフリーハンドで線を描くツールです。
-  四角形ツールは長方形または正方形を描く時に使うツールです。
-  円形ツールは正円または楕円を描く時に使うツールです。
-  曲線ツールはカーソルをクリック、ドラッグするだけで曲線が作れるツールです。
-  直線ツールは直線を引く時に使うツールです。



[ペイントバケツ] ツールを用いると、イメージ上の選択範囲内を任意の色で塗りつぶすことができます。



[グラデーション] ツールは、前景色から背景色まで連続した色の変化 (グラデーション) を作り出したり、直線状、放射状、正方形といった形状を選んで、複数色からなるグラデーションを作成することができます。



エアブラシツールは選択された色をイメージに吹き付け、そのイメージに対して次第に奥行きを持たせるような効果を出すためのツールです。吹き付けられる色の密度は、普通のエアブラシのように中央部から周辺にいくにしたがって低くなります。



テキストツールは、イメージ上の任意の場所に文字を書き込むためのツールです。



[イメージホース] ツールは、あたかもマウスカーソルというホースからイメージという水が流れ出るように、既存のイメージを、カーソルの軌道に沿って画面上に吹き付けることができます。





スポイトツールは、カラーパレットで色を指定しないで、直接にイメージ上のカラーを抽出して、前景色／背景色に指定するツールです。



消しゴムツールは、背景色でイメージを消すツールです。



ズームツールは、イメージを拡大／縮小表示することができるツールです。ズームイン  をクリックするとイメージが拡大し、ズームアウト  をクリックすると縮小します。



色相／彩度ブラシツールは、ペイントブラシと違い、イメージにカラーフィルターを掛けたような効果が生まれます。



ぼかし／シャープブラシツールは、名前のおりイメージの一部をぼかしたり、はっきりさせるためのツールです。実際には、ピクセル間のカラーコントラストを増減させることで調整を行います。



明／暗ブラシツールは、イメージの一部もしくは全体に明暗効果を与えるツールです。



[スマッジ] ツールは、ある特定の領域内のピクセルをランダムにミックスさせて、あたかもチョークやパステルを用いて複数色をミックスさせているような効果を出すために用います。







変形ツールを用いると、イメージを部分的に拡張させたり、縮小させたりできます。



回転ツールは、イメージの一部を任意の角度で回転させたり、移動させたりすることができるツールです。



サイズ変更ツールは、選択された領域の大きさを角をドラッグすることにより、平行四辺形  や台形（梯形） 、遠近法 、またはまったく不規則な形状 （フリーハンド）へと、形状を歪めることができます。

第4章

メニューコマンド

【ファイル】メニュー

新規作成：新しいイメージキャンバスを作成します。

開く：既存のイメージファイルを開きます。

サムネイルビュー：イメージをサムネイルでプレビューし、内容を確認します。

上書き保存：すでにディスクに保存されているイメージを上書きして保存します。

名前を付けて保存：新規作成したイメージもしくは、すでに存在するイメージを別のファイル名で保存します。

開き直す：イメージを開いた後、編集の結果が気に入らなかった場合、変更の結果をあきらめて、前回保存した内容を再度開きます。

イメージマネージャ：イメージ管理機能用に Presto! ImageFolio に搭載されている独立したソフトウェア、“Presto! Image Explorer” を呼び出します。スクリーン表示の形式は、[左] [下] [中央] という3つのオプションから選択できます。

対応機器の選択：システムにインストールされている対応機器を選択します。

対応機器の起動：WIA または TWAIN 対応機器を起動し、イメージを取り込みます。サブメニューには、[取り込み] と [自動取り込む] があります。[自動取り込む] を選ぶと、イメージの取り込みは自動的に実行されます。イメージが取り込まれたら、Presto! ImageFolio はイメージをよりきれいにするため、自動的にカラー、コントラスト、明るさなどの要素を調整します。

I-Compress：JPEG ファイルとして保存する前に、画像をプレビューして、圧縮設定を指定してください。

イメージの継ぎ合わせ: このコマンドにより、あるイメージにいくつかのイメージを追加、結合することができます。このコマンドはスキャナで読み取れる大きさよりも大きなデータを必要とする場合などに大変便利です。

ページの設定: このコマンドで、今まで設定されていた印刷設定を変更することができます。

印刷: このコマンドにより、イメージを出力することができます。

壁紙に設定 (並べて表示): イメージをデスクトップの壁紙として並べて画面全体に表示します。(Presto! ImageFolio Mac OS X バージョンは、この機能をサポートしていません。)

壁紙に設定 (中央に表示): イメージをデスクトップの壁紙として画面の中央に表示します。(Presto! ImageFolio Mac OS X バージョンは、この機能をサポートしていません。)

環境設定: Presto! ImageFolio の環境を設定します。例えば、使っているカラーモニタの輝度を調整します。

終了: Presto! ImageFolio を終了します。

[編集] メニュー

元に戻す: このコマンドは、編集などの通常の操作のうち直前に行った操作をキャンセルすることができます。 .

やり直し:[元に戻す]コマンドを取り消します。 .

切り取り: イメージキャンバス上の選択された部分を切り取り、クリップボード上に持っていきます。 .

コピー: 選択した範囲をコピーし、それをクリップボード上に持っていきます。

貼り付け: クリップボードに残されたイメージを現在のイメージに貼り付けます。

新規貼り付け: 新しいイメージキャンバスに、クリップボードに上のイメージを新しいイメージキャンバスを作成して貼り付ける機能です。 .

縁取り: イメージの選択された範囲の周囲に輪郭線を加える機能です。

クリア：イメージキャンバス上の選択された部分を削除します。 .

抜き取り：イメージキャンバスから必要な部分のみを長方形の形に切り抜き、その外側のイメージを削除します。 .

複製：このコマンドは、既存のイメージキャンバスの複製物を、同じイメージ編集領域上に新しいイメージキャンバスを開いて表示します。 .

塗りつぶし：このコマンドを用いると、領域選択枠内全体を前景色で満たすことができます。

マジックタッチ：このコマンドには、異なる光の方向と深度を設定することによって、イメージ中のオブジェクトに3D効果を生じさせる [3D化] オプションがあります。 .

[選択] メニュー

すべて選択：カレントイメージ全体を選択範囲として指定します。

選択範囲の反転：このコマンドは、その時点で選択されている範囲の選択を解除して、選択されていない範囲のみを選択し直します。

選択範囲の解除：選択していた範囲を解除します。

浮遊オブジェクトの作成：このコマンドは、選択した範囲を浮遊させて、その範囲のみに編集を加えることができます。

浮遊オブジェクトの削除：浮遊している選択範囲を取り消します。 .

浮遊オブジェクトのコピー：このコマンドは、キャンバス上に選択範囲を固定させた後も、その浮遊オブジェクトを残しておきたい際に使用します。

[表示] メニュー

拡大表示：イメージを拡大表示します。

縮小表示：イメージを縮小表示します。

実サイズで表示：このコマンドは、[拡大表示] か [縮小表示] コマンドが実行されている場合にのみ有効で、実際のサイズに戻したい時に使うコマンドです。 .

表示倍率の最適化：このコマンドは、イメージ全体を表示し、イメージウィンドウのサイズを、それに合ったサイズに調整することができます。 .

全画面表示：このコマンドは、イメージ全体を最大画面サイズで表示します。
[Esc] キーを押すかマウスをクリックすると、編集画面に戻ります。

イメージの二重表示：このコマンドは、現在表示されているイメージのウィンドウをもう一つ表示します。細かい作業をしていて実際のサイズで状況を確認したい場合などに便利です。

パネルを表示させる：ツールコントロール、ツールボックス、パレットコントロールなどの表示/非表示を切り替えます。[初期設定] を選択すると、初期設定の画面配置に戻ります。

プロパティ：イメージに関する情報とシステム情報を表示します。

[処理] メニュー

明るさ/コントラスト：このコマンドは、イメージにあるピクセルの明るさやコントラストを調整することができます。 .

色相/彩度：このコマンドは、イメージの各色における色相と彩度を調整します。 .

色補正：このコマンドは、グレースケール値（補正值）のトーンカーブを直接変化させることによって、イメージの中の各ピクセルの持つ明るさを変更することができます。

階調補正：この機能では、イメージのグレースケール値の入力/出力値の範囲を設定することで、コントラストを強化したり、明るさのレベルを調整することができます。これにより、イメージのハイライト、シャドウ、中間トーン領域に対する強弱調整を行うことができます。また、イメージのヒストグラムの値も計算して表示します。

パリエーション：[パリエーション] ダイアログボックスでは、プレビューを見ながらイメージの暗領域、中間トーン領域、明領域に対して色彩、彩度、明るさ/コントラストの調整を行うことができます。

フィルターギャラリー： [フィルターギャラリー] ダイアログボックスでは、 [処理] メニューに含まれるすべての特殊効果によって処理された各イメージの概観を表示します。

フォトファン： [フォトファン] ダイアログボックスでは、写真のフレーム、カレンダー、グリーティングカードなどといった用法に合わせて、いくつかの既存のテンプレートを利用することが可能です。これらのテンプレートにおけるスケッチやフォーマットは、あらかじめ定義/固定されているものです。これらのテンプレートに好みのイメージを組み合わせることで、あなただけの独自の作品を作ることができます。

プラグインフィルター： サードパーティのプラグインフィルターをインストールした場合、Presto! ImageFolio が自動的にすべてのプラグインフィルターを検出して、 [処理] メニューの中の [プラグインフィルター] オプションの中にそれらを加えてくれます。

ぼかし： このコマンドでは [ぼかし] [ぼかし強調] [ぼかし輪郭] [自由調整 (ガウス)] の 4 つのオプションを用いることにより、イメージをぼやけた感じにすることができます。 [ぼかし] のオプションは、イメージをわずかにぼかしたいときに用います。更にぼやけた感じにしたい場合には、 [ぼかし強調] オプションを選択してください。 [ぼかし輪郭] オプションは、イメージ内のオブジェクトの輪郭のみをぼかします。 [自由設定 (ガウス)] オプションは、光源から離れたところで、色が少しずつぼんやりとしてゆくような感じで、イメージをぼかします。これにより、目の焦点がずれているために、イメージがぼんやりとしているような効果をもたらすことができます。

シャープ： [シャープ] コマンドでは、 [シャープ] [シャープ強調] [シャープ輪郭] [アンシャープマスク] の 4 つのオプションを用いて、イメージの鮮明度を上げることができます。 [シャープ] オプションは、イメージをわずかに鮮明にします。 [シャープ強調] オプションは、イメージを更に鮮明にしたい場合に使用します。 [シャープ輪郭] オプションは、イメージ内のオブジェクトの輪郭のみを鮮明にします。 [アンシャープマスク] オプションは、イメージの中で、隣接するピクセル間に相当程度のカラー値の差異が認められる領域に限り鮮明化します。

エンボス： [エンボス] フィルターを使用することにより、イメージが紙の表面から突き出たような状態、もしくは背景に浮き彫りにされたような状態を作り出すことができます。

平均値： このコマンドは、イメージ上において各ピクセルとその周囲のピクセルの数値を平均化して、新たなイメージカラー値を作り出すことで、ぼやけたイメージを生じさせます。

手ぶれ：このコマンドを実行すると、イメージは自動的に上下左右四方方向に動いて、4 つの異なる仮のイメージを作り出し、その後その 4 つのイメージを一定の透明度のもとで重ねあわせることで、特殊な効果を生じさせます。このようにしてイメージを、かなりピントのぼけた写真のように見せる効果を出します。

モザイク：このコマンドは、イメージをモザイクタイルの集合体として表示するために用います

その他：[処理]メニュー上の、[その他]オプションの中には、いくつかの特殊イメージ処理機能が用意されています。.

ノイズ：このコマンドを使用することで、テレビ画面上に発生したノイズのように、イメージ上にオリジナルのカラーとは異なる明るさ（輝度）をもつカラーピクセルをランダムに発生させることができます。

ノイズクリア：このコマンドは、イメージ上の小さなゴミのような小斑点などを自動的に除去します。

拡散：このコマンドでは、カラーを拡散させることによって、そのイメージをぼかすことができます。

輪郭の抽出：このコマンドは、イメージキャンバス上において、各オブジェクトの輪郭を自動的に抽出し、グレースケールモードの時は白またはグレーシェードで、RGB カラーモードの時は輪郭の隣接する領域のオリジナルカラーを用いて、オブジェクトの輪郭を表示します。

タイル：この コマンドを用いることで、あるイメージをタイル状の小さな正方形に分割して、新たなイメージを、形成することができます。

輪郭のトレース：[輪郭のトレース] フィルターは、イメージをバイレベルフォーマットに転換させて、イメージの輪郭を明示します。

ソラリゼーション：この機能を用いると、イメージを露出オーバーの写真のような感じに変化させることができます。

[変更] メニュー

反転：このコマンドを選択すると、イメージの色が反転表示されます。.

ミラー：このコマンドは、イメージを鏡に映したように相対させます。〔左右対称〕や〔上下対称〕や〔対角対称〕などの3種類の方法があります。 .

回転：このコマンドはイメージを回転します。サブメニューには〔左に 90 度〕、〔右に 90 度〕、〔度数を入力〕、の三つのオプションがあります。〔左に 90 度〕オプションは、イメージを反時計回りに 90 度回転します。〔右に 90 度〕オプションは、イメージを時計回りに 90 度回転します。〔度数を入力〕オプションは、イメージを入力した任意の角度で回転します。

イメージサイズの拡大／縮小：このコマンドは、イメージの全体又は指定範囲のサイズや解像度などを変更することができます。 .

イメージタイプの変更：このコマンドにより、イメージのタイプを変更することができます。 .

イメージサイズの拡張：このコマンドにより、元のイメージサイズを変えずに、キャンバスのサイズだけを拡大することができます。

[ウインドウ]メニュー

重ねて表示：このコマンドは、読み込んだ複数のイメージウィンドウを斜めに重なるよう、イメージ編集領域上に表示し、アクティブになっているイメージウィンドウを一番上に置きます

並べて表示：このコマンドは、読み込んだイメージのウィンドウをすべてイメージ編集領域上に一度に見られるよう、タイル状に並べて表示します。 .

アイコンの整列：このコマンドは、最小化されているウィンドウのアイコンがイメージ編集領域の下端に整頓して並びます。

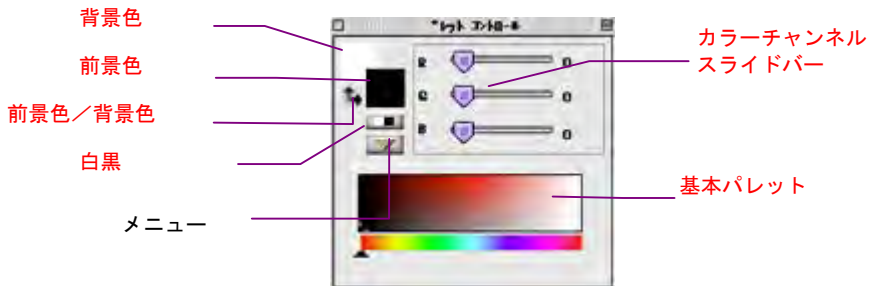
すべて閉じる：このコマンドは、読み込んだ全てのイメージを一度に閉じます。 .

保存せずすべて閉じる：このコマンドは、保存していないイメージがあっても、保存を確認するダイアログボックスが開かず、すべてのイメージを閉じてしまいます。 .

第5章

パレットコントロール

パレットコントロールの表示形式にはネイティブビューとアペンディックスビューの二つの選択肢があります。ネイティブビューはカラーチャンネルだけを表示しますが、アペンディックスビューはカラーチャンネルだけでなく、アクティブとなっているイメージに属している基本パレットも表示します。



パレットコントロール（アペンディックスビュー）

前景色と背景色は、カラーパレットからカラーピッカー又はカラーチャンネルスライダーから選択します。

カラーパレットで、前景または背景を選び、それぞれのカラーをパレットからクリックして選択します。

【メニュー】 ボタンをクリックするとパレットコントロール用オプションの含まれているサブメニューがポップアップされます。

RGB/HLS: RGB カラーと HLS カラーからモードの切り替えを行うために使用します。

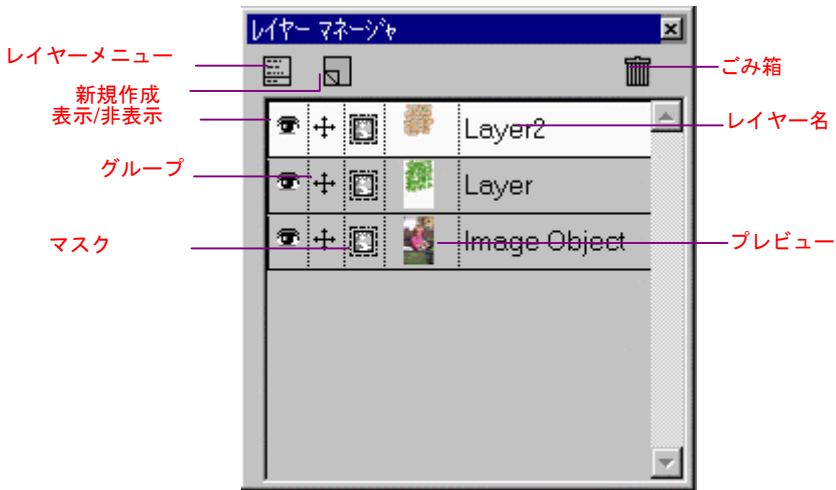
[ネイティブ] 及び、[アペンディックス] という二つのコマンドは、それぞれパレットコントロールの表示形式を意味しています。パレットコントロールは、選択されたコマンドに対応する表示形式へと切り替わります。

[非表示] コマンドを選択すると、スクリーン上からパレットコントロールウインドウの表示が消えます。.

第6章

レイヤーマネージャ

複数のレイヤーからなるイメージを管理するためには Presto! ImageFolio 内のレイヤーマネージャを利用します。



レイヤーマネージャ

[レイヤーメニュー] ボタンをクリックすると、レイヤー管理を行うためのコマンドリストが現れます。

新規作成：このコマンドは、イメージに、無地透明のレイヤーを追加します。

新規貼り付け：このコマンドは、クリップボード上に、コピーされたイメージを新規レイヤー上に貼り付けることができます。

複製：あるレイヤーの持つ内容は、その一段上に新規レイヤーとして複製することができます。

オブジェクトレイヤーの作成：あるイメージ上の一部を浮遊させると、その選択されたオブジェクトを、アクティブとなっているレイヤーの一段上の新規レイヤー上に移動することができます。

削除：すでに不必要となったレイヤーを削除します。

レイヤーでマスクを作成：あるレイヤーに対し、別のレイヤーにあるイメージをマスクとして使うことができます。

マスクのコピー：あるレイヤーのマスクを他のレイヤーにコピーして、コピー先のレイヤーにその透明度やピクセルに対する表示制限を適用することができます。

オプション：このコマンドは、レイヤーの名称を変更する、またはレイヤーの透明度を設定することができます。

インターリーブ：このコマンドを用いると、ひとつのイメージの奇数線と、もう一方のイメージの偶数線がミックスされて、立体的イメージを構成し、3D 眼鏡を通して見ているような効果を得ることができます。

合成：このコマンドを用いると、その時点で表示されているレイヤーを合成して、残りの表示されていないレイヤーをそのままに残しておくことができます。

すべて合成：その時点で表示されている全てのレイヤーを合成し、その他の表示されていない全てのレイヤーを削除します。合成後のイメージにおいては、一枚のレイヤーのみが残ることとなります。

第7章

ショートカットキー 一覧

メニューコマンド用のキーボード操作

キー	操作
[Alt]	メニューバーにおける項目の、下線をつけられている文字キーと併用することで、同メニューを開きます。（メニューコマンドやダイアログボックス機能呼び出すには、呼び出したい項目の、下線のついた文字キーを押してください。）
[Ctrl]+[N]	新規作成
[Ctrl]+[O]	開く
[Ctrl]+[S]	上書き保存
[Ctrl]+[R]	再読み込み
[Ctrl]+[P]	印刷
[Ctrl]+[Z]	元に戻す
[Ctrl]+[A]	最後の動作をやり直す
[Ctrl]+[X]	切り取り

キー	操作
[Ctrl]+[C]	コピー
[Ctrl]+[V]	貼り付け
[Del]	クリア
[F1]	オンラインヘルプの呼び出し
[F2]	全パネル表示／非表示
[F3]	ツールボックス表示／非表示
[F4]	ツールコントロール表示／非表示
[F5]	パレットコントロール表示／非表示
[F6]	ルーラー表示／非表示
[F7]	ツールバー表示／非表示
[F8]	ステータスバー表示／非表示
[F9]	タイトルバー表示／非表示
[F10]	レイヤーマネージャ表示／非表示
[Ctrl]+[1]	画面配置（表示方式）のデフォルトへの転換
[Ctrl]+[F]	最後に使用したフィルターの再度使用
[Shift]+[F5]	重ねて表示
[Shift]+[F4]	並べて表示
[Enter]	カレントコマンドの実行
[Esc]	カレントコマンドのキャンセル
[+]	イメージの拡大
[-]	イメージの縮小

ツール用のマウスおよびキーボード操作

ツール	操作	機能
四角形セレクト タ、円形セレクト タ、マジック ワンドなど のセレクト タ	[Shift]+左ドラッグ [Ctrl]+左ドラッグ	選択範囲の拡大 選択範囲の除外
四角形セレクト タ	[Shift]+左ドラッグ [Alt]+左ドラッグ	正方形範囲の選択 中心点を開始点として四 角形範囲選択
円形セレクト タ	[Shift]+左ドラッグ [Alt]+左ドラッグ	正円形範囲の選択 中心点を開始点として円 形範囲選択
フリーハンド セレクト タ	左ダブルクリック	選択の完了
セレクトブラ シ	左ドラッグ [Ctrl]+左ドラッグ	選択の追加 選択範囲の除外
オブジェクト の移動ツール	左ドラッグ [Ctrl]+左ドラッグ [Alt]+左ドラッグ	[Alt]+左ドラッグ選択レ イヤーの変更 選択枠の移動
選択範囲の作 成が可能なツ ールを使用し ている場合	右クリック	マスクオプションの呼び 出し
ツール	操作	機能

四角形ツール	[Shift]+左ドラッグ [Alt]+左ドラッグ	正方形の作成 中心点を開始点として四角形作成
円形ツール	[Shift]+左ドラッグ [Alt]+左ドラッグ	正円の作成 中心点を開始点として円形作成
直線ツール	[Shift]+左ドラッグ	45度単位の角度での直線作成
グラデーションツール	右クリック	マルチカラーグラデーション用の色選択
ペイントブラシ、エアブラシ	左クリックまたは左ドラッグ 右クリックまたは右ドラッグ	前景色による表現 背景色による表現
テキストツール	右クリック	確定
スタンプツール	[Shift]+左クリック	貼り付けを行いたいイメージの取り込みもしくはクローン作成のための基準点の設定
イメージホース	[Shift]+左クリック 右クリック	吹き付けられたイメージが重なりあうことを防止 イメージホース用パターンの定義

ツール	操作	機能
ズームツール	[Shift]+ 左 ド ラ ッ グ [Ctrl]+左クリック 右クリック [Esc]	イメージ内の一部をイメージウインドウ全体に拡大して表示 縮小 実サイズで表示 全画面表示状態から編集領域への復帰
スポイトツール	左クリック 右クリック	前景色の抽出 背景色の抽出
ぼかし／シャープブラシツール	左クリックまたは左ドラッグ 右クリックまたは右ドラッグ	イメージぼかし イメージ鮮明化
明るさ／コントラストブラシツール	左クリックまたは左ドラッグ 右クリックまたは右ドラッグ	イメージ明るく イメージ暗く
サイズ変更ツール	[Shift]+左ドラッグ	選択範囲の縦横比を固定して拡大／縮小
回転ツール	[Shift]+左ドラッグ	45度単位で回転

以下のキーボードおよびマウス操作は、どのツールを選択しているかにかかわらず使用することができます。

操作	機能
[1]+左クリック	拡大
[2]+左クリック	縮小
[3]+左ドラッグ	イメージの移動
[4]+左クリック	カラー1677 万色の イメージの中から前景色を選択
[5]+左クリック	カラー1677 万色の イメージの中から前景色を選択
[Esc]	全画面表示から、編集領域へ戻る